

いのちの言の葉

「いのちの尊さ」 — 生命誕生に立ち会って — (道徳)

砺波市立庄川小学校 対象：児童・保護者

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年9月4日実施

「いのちの尊さ」

産婦人科医としての経験から、生命誕生の神秘性について専門的な立場でお話いただき、いのちの大切さといのちを守るということについて考えました。



ぼくは、6000万分の1の確率で生まれたことを知りました。お母さんのお腹の中で選ばれて生まれてきたので、とてもうれしいです。

伏木 弘 先生のプロフィール

10年にわたり、国立富山医科薬科大学(現富山大学医学部)の産婦人科に勤務。その後、砺波総合病院の産婦人科部長としてご活躍、現在は伏木医院を開業。

【内容】

- ・いのちが誕生する不思議さについてお話いただいたことで、子どもたちは、いのちがかけがえのない大切なものであるということを実感できた。
- ・体内で成長していく赤ちゃんの様子を、写真等を通して分かりやすく説明していただき、いのちの神秘性について理解することができた。



私たちは、すごい確率で生まれてきたことが分かりました。だから、いのちはとても大切だということも分かりました。これからは、自分のいのち、他の人のいのち、動物のいのち、植物のいのちまで大事にしていきたいと思います。



エイズや肝炎などの怖い病気があることを知りました。私はそんな病気を治せる薬があればいいのと思いました。しかし、完全に治る薬はないので、自分のいのちは自分で守らなければならないと思います。いのちの一つしかない、ゲームみたいじゃないということがよく分かりました。